

平成30年度 学校評価一覧

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

今年度の重点 **教育目標：豊かな人間性を育み、たくましく生き抜いていこうとする生徒の育成**

重点目標：良さを認め合いながら、一歩前に課題についてもより良い手立てを工夫し、取り組んでもらいたい。

市教育 施策	学校評価項目	シート 担当	自己評価A (前期)	学校関係者評 価 (前期)	学校評価項目別のコメント	
人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	I 組織運営		教頭	おおむね良好	おおむね良好	<ul style="list-style-type: none"> 学級担任と副担任との連携が特色ある学校づくりにつながっている。今後も、意識して週1回実施している学年主任会で、生徒についての情報交換や学年間の連携を一層深めてほしい。 校長報「北陽魂」で校長の考えや思いを文章化することで、教職員や生徒たちに明確に伝え、より意識化させるような手立てが取られている。
	II 教師の研修		研究主任	おおむね良好	おおむね良好	<ul style="list-style-type: none"> 北陽スタイルを共通実践するために、全職員で確認する場が設けられ、共通理解につながっている。生徒による授業評価を見ても、先生方の指導に対して高い評価が出されており、その真摯な取り組みは、生徒・保護者から信頼を得ている。 「深い学び」と「確かな学力」のために、時間を工夫した学び合い、授業構成を考え、研修をさらに深めてほしい。
	III 特色ある教育活動		教務主任	良好	良好	<ul style="list-style-type: none"> 北陽中の活動のスタイルが浸透し、安定した教育活動ができてきたので、今後も積み重ねていってほしい。学校行事について達成感を問うアンケートでは、3年生の数値が高く、思う存分に取り組み、力を発揮できたという満足感が大きかったのだろう。 職員から出されている課題について、よりよい手立てを工夫し取り組んでほしい。
	IV 主体的な学習態度・確かな学力		学習指導部長	おおむね良好	おおむね良好	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習態度の育成においては、「学習がんばり表」の活用、「学習goodさん」「家庭学習goodさんコーナー」などで手立てがとられている。個人差もあるというので、個別に指導しレベルアップしていきたい。 家庭学習についてのアンケートでは、生徒の自己評価と保護者とでは開きがある。家庭学習の時間や量を問う視点から、内容や質に目を向けさせていく取り組みが今後の課題である。
	V 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣		生徒指導部長	おおむね良好	おおむね良好	<ul style="list-style-type: none"> あやめ運動では挨拶の質が低下しているとのことだが、委員会活動等での手立てを工夫し、生徒主体の活動として盛り上げてほしい。健全な生活習慣の育成は、家庭との連携が大切なので今後も連携を密にして進めてほしい。特にメディアについては、生徒も含め決まりある生活ができるように進めたい。家庭の協力が課題である。
	VI 思いやりの心、たくましい心		特活指導部長	良好	良好	<ul style="list-style-type: none"> 副担任制の導入により、生徒の見取りがより丁寧にでき、良さを認め、よりよい活動への指導、支援ができるようになってきている。学級・学年づくり、学校行事への取り組みに関する生徒の自己評価は高く、活動を通して達成感を味わい、成長している姿がうかがえる。その中で、周囲になじめなかったり、悩みを抱えている仲間へ気づき、声をかけたり、学級の仲間を包んでいこうとする思いやりの心を育ててほしい。
	VII 保護者・地域との連携		教頭・特活指導部	おおむね良好	おおむね良好	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に北陽生が参加する姿が多く見られる。学校報は生徒のがんばりを知らずる手段なので、多くの地域住民が楽しみにしている。

今年度は北陽中の第2ステージのスタートである。校長先生発行の「北陽魂」は、生徒に自分たちの強みを実感させる効果的な手段として期待したい。これまで3年間築き上げた成果を継承・発展させ、一層の深化を目指そうとする職員の気概も強く感じられる。生徒一人一人が自分の良さや頑張りを自覚し、誇りと自信をもって進んでいけるよう、今後も教育活動を進めてほしい。